

令和元年6月定例会

総務建設委員会記録

令和元年6月18日（月）  
午前10時00分  
全員協議会室

付託案件 議案第22号 有田市使用料及び手数料条例の一部を改正する条例  
議案第24号 有田市火災予防条例の一部を改正する条例  
議案第32号 有田市漁業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例  
議案第38号 財産の無償譲渡について  
議案第39号 動産の買入れについて

出席者

委員	浜口元司委員長 宇野博治委員 岡田行弘委員	福永広次副委員長 生駒三雄委員 池田敦城委員
----	-----------------------------	------------------------------

万賀幸雄議長

経営管理部	嶋田博之部長 大松満至経営企画課長 山本芳規秘書広報課長 吉野清誠まちづくり係長	喜多俊充参事 上田敏寛防災安全課長 御前一晃総務課長 嶋田 聡管財係長
-------	---	--

経済建設部	河野孝司部長 鎌田利宏産業振興課長 脇村哲弘建設課長 武田一之産業振興課主幹 桑原伸浩地籍調査課主幹	成田裕幸理事 大浦秀和有田みかん課長 栗山京三地籍調査課長 泉 泰朗建設課主幹
-------	--	--

消防本部	田邊隆義消防長 嶋田富司総務課長	梅本敦夫次長 尾藤海男樹警防課長
------	---------------------	---------------------

出納室 森川直子会計管理者

教育委員会      谷輪吉伸次長                      伊藤正人教育総務課長  
                         溝上 博給食センター長

議会事務局      田中 聡局長                      福永康一次長  
                         大谷真也書記

開                  会

議案第22号 有田市使用料及び手数料条例の一部を改正する条例  
(御前総務課長 説明)

○浜口委員長：これ御前君、当てはまるというのは、どういうところに当てはまるのか。  
日本工業規格といえば、例えば生コンクリートの品質管理とかあるが、その  
ようなものですか。

○御前総務課長：こちらの方につきましては、今まで工業標準化法というふうなところ  
で、日本産業規格、J I S規格です。いま委員長がおっしゃられたように生  
コンクリートとか、そういうふうな工業製品に対して、標準の規格が定めら  
れていたのですが、すみません日本工業規格ですね。鉦工業品に対する基準  
が定められておりました。今回、情報化、I O TやA Iというふうなところ  
で、情報技術の革新に対応するため、データとかサービス等についても、こ  
の標準規格を当てはめようというふうなところで、産業標準化法というもの  
が新たに施行されたかたちになります。それで、J I S規格についてもサー  
ビスとかデータの部分も含めた、大きく枠を広げたかたちに改正されて日本  
産業規格というふうなかたちになりました。それで、条例に日本工業規格の  
引用部分がありましたので、そこを産業規格に今回改めたものでございま  
す。以上でございます。

○浜口委員長：詳細な説明がございました。他にご質疑ございませんか。

○生駒委員：これね、日本工業規格が日本産業規格に変わったということか。それなら、  
日本工業規格というものもまだ現存しているのか。

○御前総務課長：日本工業規格が産業規格に範囲を広げて、名称も変わったかたちにな  
ります。鉦工業品にデータ等が含まれていなかったのですが、情報技術が革  
新することによって、そういう規格、データやサービスに対しても規格を、  
標準の規格を設けようとすることになりまして、範囲が広まったかたちにな  
ります。その中に、今までの日本工業規格が吸収されたかたちで、新たに枠  
が大きくなって日本産業規格というふうなかたちに改められております。以  
上でございます。

○生駒委員：これからは日本産業規格という名称になるということですね。

○御前総務課長：その通りでございます。

○生駒委員：了解です。

○福永副委員長：御前君、10月1日から施行される消費税のことであるのですが、10%に上がれば問題は無いのですが、これがもし、2回ほど流れていますが、今回も政府が延長ということになれば、これらの条例案はどうなるのですか。

○嶋田部長：万一そのような事態になった場合には、もちろん今回の条例を廃止するよう、消費税に関する部分のみでございますが、そういうふうな条例が必要となると思います。それについては、議会を開く暇があればいいのですが、無ければ専決というかたちになると思います。以上でございます。

○福永副委員長：この消費税に関しては、この後の審議にも関係があることですから、その辺を確かめるために質問しました。今までにも、2回も流れているので、今回もどのような状況になるともわかりませんから、そうなったときに、これらの条例をどうするのかなと思いました。はい、わかりました。

質疑終了 採 決 ( 可 決 )

議案第24号 有田市火災予防条例の一部を改正する条例  
(梅本消防次長 説明)

質疑なし 採 決 ( 可 決 )

議案第32号 有田市漁業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を  
改正する条例  
(鎌田産業振興課長 説明)

質疑なし 採 決 ( 可 決 )

議案第38号 財産の無償譲渡について  
(大松経営企画課長 説明)

- 岡田委員：この建物は、いつぐらいに建てられたものですか。
- 大松経営企画課長：建物の方は、和歌山県が警察の駐在所として建てたものでございます。建てた年度は、少しお待ちください。建物の建築年は昭和56年3月になります。
- 岡田委員：通常であれば、県の方からこれを壊して、市へ戻すことになると思うが、今回、滝川原に無償で渡すということですが、この昭和56年に建てられた建物、これから修繕費が発生した場合、自治会が負担していくことになるのですか。
- 大松経営企画課長：今後、建物の管理は自治会の方で管理をしてもらうことになりますので、かかる修繕費等、基本は自治会の方で管理をいただくことになります。
- 岡田委員：県の方で普通であれば、壊す費用が発生すると思うのですが、それに対しては全く県の方からお金は下りないということですか。
- 大松経営企画課長：県の方からは、無償で有田市が引き渡しを受けますので、取り壊し等に関する費用というものは、県の方ではみないかたちになります。
- 岡田委員：了解しました。
- 浜口委員長：大松君、宮原小学校の横にある警察の派出所ですね。
- 大松経営企画課長：そうです。
- 浜口委員長：宮原小学校に向かって右側にあるものですね。ということは、糸我にできたから、駐在所がいくつか統合されたということで、派出所が空き家になったということですね。この土地は有田市のものであった、建物は和歌山県警、県のものですよね。今言われたように昭和56年に建ったものを滝川原の自治会の方でこれを使って、先程の説明のようなことをしたいということですね。この建物を自治会はそのまま使うのですか。
- 大松経営企画課長：建物の方は、滝川原自治会の方へ譲渡させていただきますが、この建物に関しましては、その協議会の方で国の交付金を活用いたしまして、改修をしていきます。その際にいわゆる耐震性の補強というようなところも、必要な部分は行っていくというかたちになりますので、財源といたしましては国の交付金を活用するようなかたちで、リニューアルをして、その地域の交流拠点として再活用するというような計画になっております。
- 浜口委員長：協議会というのは、どのような協議会、滝川原地区にある協議会ですか。
- 大松経営企画課長：この協議会につきましては滝川原だけではなく、宮原のほぼ連合に当たるようなかたちのなかで、構成員といたしましては、自治会であったり、老人会であったり、PTAであったり、各種団体が参画した会議体になっておりまして、今回の事業を進めるために設立されております。
- 浜口委員長：はい、わかりました。他にご質疑ございませんか。
- 宇野委員：今まで、その話をお聞きした中で、この72㎡について、宮原地域住民のコミュニティの維持向上のためという目的を持っているが、これでは狭すぎるのではないかと思いますかどうか。

- 大松経営企画課長：広さについては、色々なご意見があるとは思いますが、今回実施しようとしているのは、公民館のようなものをつくるのではなく、小学校の近くで、しかも宮原に関して言えば、宮原町の中心になるような場所、そういったところに、気軽に町の皆さんが立ち寄れるような拠点ということで、考えておりますので、広さといましては、その事業を進めていく上では、今のところ十分ではないかと思っております。
- 宇野委員：高架橋を降りた突き当りのところに、公民館がありますよね。あれは公民館ですよ。
- 大松経営企画課長：滝川原の集会場です。
- 宇野委員：集会場という名称もあるのか。公民館ではないのか。
- 大松経営企画課長：市が管理している8館ある公民館とは別で、自治会さんが所有され、管理されているものとして、滝川原の正式な名称は私も知りませんがあります。
- 宇野委員：それでは今回、これを譲渡しようとするのは、小学校の隣の小さい駐在所であるということですが、今申し上げた高架橋を超えたところにある集会所も併用していく。ここも滝川原になるのか、新町ではないのか。
- 大松経営企画課長：旧の駐在所の場所は、住所で行くと滝川原になります。
- 宇野委員：だから2つもあって、ひとつ大きなものがあるのに、またひとつ譲り受けたら地元になれば、負担が増えるのではないかと思ったのですが、それは間違いなく大丈夫なのですね。国の交付金により、修理もしてくれるなど全部してくれるということですね。
- 大松経営企画課長：はい、まず必要な修繕はそのようなかたちで取組まれると思います。後の管理という部分については、確におっしゃられるように一定の費用がかかってくるというふうに思います。ただ滝川原だけではなくて、今回の取り組みは、宮原エリア全体の所管する団体さんが共に活動する拠点ということで考えておりますので、滝川原自治会単独でその施設を維持していくというのは、また違うというふうに思います。
- 宇野委員：やっぱり、そうして今課長が言われたとおり、全体的な見解で行けば、狭すぎるというふうに思えることだけは伝えておきたいと思います。

質疑終了      採 決      ( 可 決 )

議案第39号 動産の買入れについて  
(御前総務課長 説明)

○岡田委員：参考に聞かせていただきたいが、前回の洗浄機はどれくらいの年数、もち

ましたか。

○伊藤教育総務課長：平成14年に給食センターが出来ておりますので、約17年もっております。以上です。

○岡田委員：はい、了解しました。

○宇野委員：この一式というのは、どのような加減か。大体でわかるところは教えていただきたい。2,052万円の高圧食器トレイ洗浄機一式の。

○御前総務課長：自動の洗浄システムになるのですが、供給装置や高圧トレイの洗浄機、それと自動の整理装置等が含まれておりますので、一式というふうなかたちで表現させていただいております。

○宇野委員：大きく分けたら、御前君、3品に分割ということですか。それから電気の配線から色々と細かいところもたくさんあるだろうが、大きなものとすれば、その3点ぐらいですか。

○御前総務課長：送り、洗い、整理というふうな3点の形式になると思われます。以上でございます。

○宇野委員：了解。

○生駒委員：これ、前回14年に洗浄機を買ったということで、今子供の人口がずっと減ってきているが、それに対応して少し小さいものになっているのか。その辺りを教えてください。

○伊藤教育総務課長：はい、今使っているものよりは小さめになっております。それと、節水型にしております。以上です。

○生駒委員：これ、前回の金額と今の金額で比較すれば、洗浄機の値段は安くなっているのか。

○伊藤教育総務課長：前は給食センターの機器一式で買っておりますので、比較は出来ません。

○生駒委員：わかりました。

○浜口委員長：ちょっとお尋ねいたします。10社の内8社が応札した。これは10社あれば十分ですが、94.5%で落札した。何を基準の94.5%で落札したのか、お答え願いたい。

○御前総務課長：はい、これは予算額に対しての請負率というかたちになります。以上でございます。

○浜口委員長：それでは、その予算額、誰がその予算額を決めたのか。物価表で見たのか、それとも業者が出してきた見積り金額を予算としたのか。この洗浄機に詳しい予算をたてた方が皆さん方のなかにいるのか、その辺をお聞きしたい。

○伊藤教育総務課長：業者2社の方から見積りを取りまして、それで算出しております。

○浜口委員長：この2社というのは、この入札に応札した業者の中に入っているのか、いないのかをお聞きしたい。

○伊藤教育総務課長：はい、応札の業者に入っております。

○浜口委員長：その応札した2社、予算を聞いた2社の片方の1社が落札をしているのか、いないのかをお答え願いたい。

○伊藤教育総務課長：落札しております。

○浜口委員長：そこなのです、そこなのですよ。このようなもの、仕組まれた芝居の落札ですよ。お金を使うのにもっと真剣に考えるべき。何を考えているのか。業者が我が子に名を付けるようなかたちの入札ではないのか。このような甘い考えで市民の税金をよく使いましたね。これは、かたちだけではないですか。各委員の皆さん、どう思いますか。今の答弁、どう思いますか。ここで、少し休憩とします。11時まで休憩とします。

休憩 午前10時35分

再開 午前11時04分

○浜口委員長：それでは、委員会を再開いたします。今、各委員さんとの議案39号、動産の買入れについて、非公式な話し合いをしました。各委員の皆さん方は、非常に当局に対して、今までを含め、今回のこの案件に対して、かなりの議論がありました。私もそのとおりだと思いました。もっと慎重に、ものを買うときには如何なる理由、どのような理由があろうが、市民の税金だということを第一に考えて、物品の購入、請負契約等を実行してもらいたい。後は各委員さんのご判断にお任せするしかないと思います。少し有田市の職員さんはたるんでいる。その点の厳しい意見も聞かされました。どうかこれからも、まずこれは市民の税金であるということを頭において、物事を進めていかれることを強く申し上げておきます。また、本会議場でこの案件についての委員長報告がなされますが、私もこの文言については、かなり注意深く申し上げたいと思っています。他に委員の皆さんでこの件について、ご質疑ございませんか。

質疑終了 採 決 ( 可 決 )

○浜口委員長：以上で当委員会に付託されました議案の審議は全て終了いたしました。ほかにないでしょうか。

なければ、以上で総務建設委員会を閉会いたします。

ありがとうございました。

午前11時23分 閉 会